

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 08-265248

(43)Date of publication of application : 11.10.1996

(51)Int.Cl.

H04B 7/26

H04Q 7/06

H04Q 7/08

H04Q 7/12

H04M 3/42

H04M 11/00

H04Q 7/34

(21)Application number : 07-087428

(71)Applicant : CASIO COMPUT CO LTD

(22)Date of filing : 20.03.1995

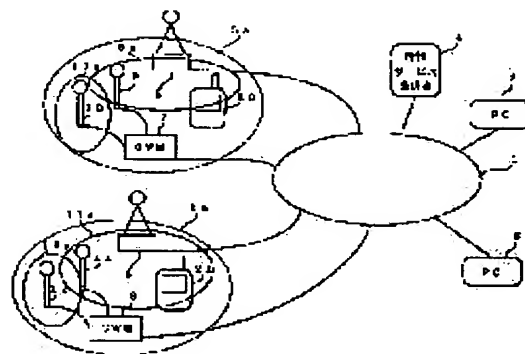
(72)Inventor : MIYAKE MASAYASU

(54) COMMUNICATION SYSTEM

(57)Abstract:

PURPOSE: To transfer data easily and surely for a user between a mobile terminal and a fixed terminal or between the mobile terminals each other.

CONSTITUTION: A floor type PC 2 sends out calling signals through the paging base station 5 of a paging network 5a to a portable RPC 20 corresponding to the floor type PC 2. In response to that, when the calling signals are received, the portable RPC 20 connects the floor type PC 2 to a channel through the base station 9 of a dedicated radio network and a gateway station 7. Also, in the case of using the dedicated radio network, the floor type PC 2 calls a dedicated radio network gateway station 7 connected to a ground network 1 and connects the portable RPC 20 to a radio channel through the base station 9. On the other hand, in the case of performing calling from the portable RPC 20, the base station 9 of the dedicated radio network is connected by radio and the ground network 1 is connected through the gateway station 20.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

THIS PAGE BLANK (USPTO)

[Date of requesting appeal against examiner's
decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

THIS PAGE BLANK (USPTO)

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平8-265248

(43) 公開日 平成8年(1996)10月11日

(51) Int. Cl. ⁶	識別記号	F I		
H04B 7/26		H04B 7/26		A
H04Q 7/06		H04M 3/42	102	
7/08		11/00	302	
7/12		H04B 7/26	103	A
H04M 3/42	102	H04Q 7/04		C
審査請求 未請求 請求項の数17 F D (全23頁) 最終頁に続く				

(21) 出願番号 特願平7-87428

(22) 出願日 平成7年(1995)3月20日

(71) 出願人 000001443

カシオ計算機株式会社

東京都新宿区西新宿2丁目6番1号

(72) 発明者 三宅 正泰

東京都羽村市栄町3丁目2番1号 カシオ

計算機株式会社羽村技術センター内

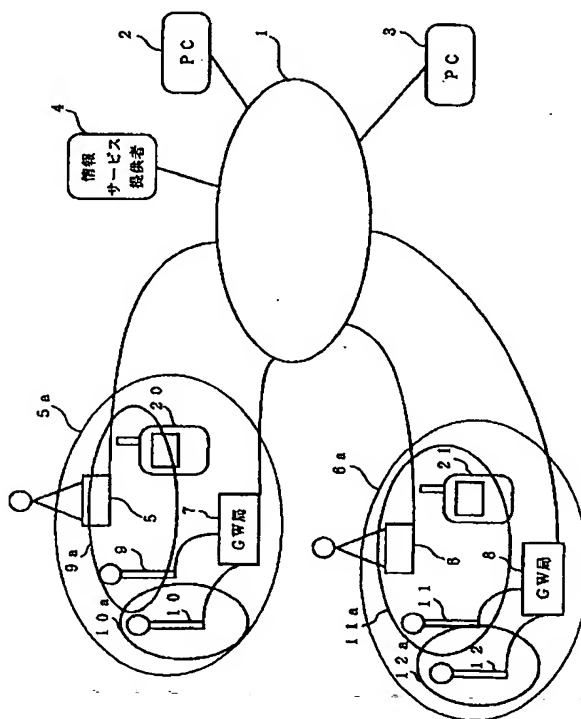
(74) 代理人 弁理士 鹿嶋 英實

(54) 【発明の名称】 通信システム

(57) 【要約】

【目的】 移動端末と固定端末、もしくは移動端末同士との間で、利用者にとって容易に、かつ確実にデータ授受できる通信システムを提供する。

【構成】 据え置き型PC 2は、ページング網5aのページング基地局5を介して、当該据え置き型PC 2に対応する携帯RPC 20に呼び出し信号を送出する。これに対して、携帯RPC 20は、呼出信号を受信すると、専用無線網の基地局9、ゲートウェイ局7を介して、据え置き型PC 2と回線を接続する。また、専用無線網を用いる場合には、据え置き型PC 2は、地上網1に接続されている専用無線網ゲートウェイ局7を呼び出し、基地局9を介して携帯RPC 20と無線回線を接続する。一方、携帯RPC 20から呼び出す場合には、無線により専用無線網の基地局9と接続し、ゲートウェイ局20を介して、地上網1に接続する。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 一般公衆網、またはそれに代わる専用網からなる地上網と、

前記地上網に接続され、島状で、地域毎の部分的なサービスエリアを有する無線網と、

前記無線網に無線により接続可能で、かつ、前記無線網を介して前記地上網に接続され、他の端末と相互にデータを授受する移動端末と、

前記移動端末に対となり、前記地上網に固定的に接続される固定端末とを具備することを特徴とする通信システム。 10

【請求項 2】 前記地上網は、広域なサービスエリアを有し、前記地上網を介して、前記移動端末に呼出信号を送信するページング網を備えることを特徴とする請求項 1 記載の通信システム。

【請求項 3】 前記固定端末は、前記ページング網を介して、当該固定端末に対応する移動端末に呼び出し信号を送出し、

前記移動端末は、前記ページング網を介して、読み出し信号を受信すると、前記無線網に無線で接続することによって、前記地上網を介して、前記固定端末と接続し、データを授受することを特徴とする請求項 2 記載の通信システム。 20

【請求項 4】 前記固定端末は、その内部に持つ移動端末に関する情報に基づいて、前記地上網、前記無線網を介して、前記移動端末に接続要求を送出し、

前記移動端末は、前記接続要求を受信すると、前記地上網、前記無線網を介して、前記固定端末と接続し、データを授受することを特徴とする請求項 1 乃至 3 記載の通信システム。

【請求項 5】 前記移動端末は、データが必要な場合には、前記無線網を介して地上網に接続し、該地上網に接続されている対応する固定端末と相互にデータを授受することを特徴とする請求項 1 乃至 4 記載の通信システム。

【請求項 6】 前記無線網は、前記移動端末および固定端末が伝送するデータに加えて、前記移動端末の位置情報を伝送することを特徴とする請求項 1 乃至 5 記載の通信システム。

【請求項 7】 前記移動端末は、定期的に、前記無線網を介して、対応する固定端末と接続し、自身の位置情報を固定端末に送信することを特徴とする請求項 6 記載の通信システム。 40

【請求項 8】 前記固定端末は、定期的に送信されてくる、前記移動端末の位置情報を記憶する位置情報記憶手段を備え、

前記位置情報記憶手段に記憶した位置情報に基づいて、無線網を介して前記移動端末と回線を接続することを特徴とする請求項 6 または 7 記載の通信システム。

【請求項 9】 前記固定端末は、定期的に送信されてく 50

る、前記移動端末の位置情報を記憶する位置情報記憶手段に加え、

前記位置情報で示され得る場所をサービスエリアとするページング網を記憶する対照表を備えることを特徴とする請求項 7 または 8 記載の通信システム。

【請求項 10】 前記固定端末は、通常、前記記憶手段に記憶された、前記移動端末の位置情報に基づいて、前記無線網を介して、対応する移動端末と接続する一方、前記無線網を介しての接続が不可能な場合には、前記対照表に記憶されているページング網を介して、前記移動端末にデータ授受が必要であることを通知することを特徴とする請求項 9 記載の通信システム。

【請求項 11】 前記固定端末は、前記ページング網毎に、各々で利用される受信周波数が記憶された周波数記憶手段を備え、

前記位置情報記憶手段に記憶されている位置情報が前記移動端末によって更新されると、更新された位置情報に基づいて、前記周波数記憶手段から対応するページング網の受信周波数を読み出し、前記移動端末へ送信することを特徴とする請求項 10 記載の通信システム。

【請求項 12】 前記移動端末は、前記無線網とデータを授受する送受信手段と、

ページング網毎の受信周波数で各々のページャ信号を受信する受信手段と、

前記固定端末から送信されてきた、ページング網の受信周波数を発生する受信周波数発生手段とを備え、

前記受信周波数発生手段で発生した受信周波数を前記受信手段に供給することを特徴とする請求項 11 記載の通信システム。

【請求項 13】 前記固定端末は、それと対となっている移動端末の位置情報を記憶し、

前記移動端末は、他の移動端末に回線を接続する場合、前記無線網および前記地上網を介して、前記他の移動

端末に対となる固定端末と回線を接続し、該固定端末に記憶されている前記他の移動端末の位置情報を受信した後、該位置情報に基づいて、前記他の移動端末と回線を接続することを特徴とする請求項 1 乃至 12 記載の通信システム。

【請求項 14】 前記移動端末は、前記他の移動端末が接続可能なページング網をも認知することを特徴とする請求項 13 記載の通信システム。

【請求項 15】 前記移動端末は、他の移動端末との間で、無線網の仕様が互いに異なり、通信手順変換機能がない場合には、前記他の移動端末に対応する固定端末にデータを送信し、

前記固定端末は、前記移動端末からのデータを受信すると、前記位置情報記憶手段に記憶されている位置情報に基づいて、前記他の移動端末と回線を接続し、受信したデータを当該他の移動端末へ送信することを特徴とする請求項 13 または 14 記載の通信システム。

【請求項 1 6】 前記無線網は、島状で、地域毎の部分的なサービスエリアを有する複数の基地局と、該複数の基地局を統合するとともに、前記地上網との中継を行うゲートウェイ局とから構成されることを特徴とする請求項 1 乃至 1 5 記載の通信システム。

【請求項 1 7】 前記位置情報は、前記無線網を構成する基地局とゲートウェイ局の各々に割り当てられた固有の識別番号であって、通信に係る基地局の識別番号とゲートウェイ局の識別番号とであることを特徴とする請求項 6 乃至 1 6 記載の通信システム。

【発明の詳細な説明】

【0 0 0 1】

【産業上の利用分野】 本発明は、携帯端末とデータを双方向で授受する通信システムに関する。

【0 0 0 2】

【従来の技術】 近年、パーソナルコンピュータ（以下、P C と呼ぶ）の普及がめざましく、また、携帯 P C の機能が向上し、通常の P C の代わりに利用可能な製品が開発され、容易に入手できるようになってきている。携帯 P C は、小型軽量であり、出張等の外出時に屋外に持ち出す場合には便利であるが、メモリ容量や表示等が小さいため、大量のデータの記憶、表示等ができない。この結果、場合によっては、事務所の据え置き型（スタンドアローン）P C から必要なデータを適宜ダウンロードして使用する必要がある。

【0 0 0 3】 また、近年、P C を利用した電子メールの利用も盛んになってきている。一般に、電子メールの利用者は、出張等で事務所から離れた場合でも、電子メールを必要とすることが多い。このような場合、携帯 P C に据え置き型 P C で受信した電子メールを転送することは、生産性の向上につながる。しかしながら、現在、据え置き型 P C から自動的に電子メール等、データを携帯 P C に転送する方法はない。

【0 0 0 4】

【発明が解決しようとする課題】 このように、上述した従来の双方向携帯データ通信システムでは、携帯 P C と据え置き型 P C との関係は、全く独立しており、据え置き型 P C と、遠隔地にある携帯 P C との間で電子メール等のデータを双方向で授受する機能がないため、その都度、利用者による複雑な操作が必要であり、操作ミスが生じたり、時間がかかるという問題があった。

【0 0 0 5】 そこで本発明は、移動端末と固定端末、もしくは移動端末同士との間で、利用者にとって容易に、かつ確実にデータ授受できる通信システムを提供することを目的とする。

【0 0 0 6】

【課題を解決するための手段】 上記目的達成のため、請求項 1 記載の発明による通信システムは、一般公衆網、またはそれに代わる専用網からなる地上網と、前記地上

網を有する無線網と、前記無線網に無線により接続可能で、かつ、前記無線網を介して前記地上網に接続され、他の端末と相互にデータを授受する移動端末と、前記移動端末に対となり、前記地上網に固定的に接続される固定端末とを具備することを特徴とする。

【0 0 0 7】 また、好ましい態様として、前記地上網は、例えば請求項 2 記載のように、広域なサービスエリアを有し、前記地上網を介して、前記移動端末に呼出信号を送信するページング網を備えるようにしてもよい。また、好ましい態様として、前記固定端末は、例えば請求項 3 記載のように、前記ページング網を介して、当該固定端末に対応する移動端末に呼び出し信号を送出し、前記移動端末は、前記ページング網を介して、読み出し信号を受信すると、前記無線網に無線で接続することによって、前記地上網を介して、前記固定端末と接続し、データを授受するようにしてもよい。また、好ましい態様として、前記固定端末は、例えば請求項 4 記載のように、その内部に持つ移動端末に関する情報に基づいて、前記地上網、前記無線網を介して、前記移動端末に接続要求を送出し、前記移動端末は、前記接続要求を受信すると、前記地上網、前記無線網を介して、前記固定端末と接続し、データを授受するようにしてもよい。

【0 0 0 8】 また、好ましい態様として、前記移動端末は、例えば請求項 5 記載のように、データが必要な場合には、前記無線網を介して地上網に接続し、該地上網に接続されている対応する固定端末と相互にデータを授受するようにしてもよい。また、好ましい態様として、前記無線網は、例えば請求項 6 記載のように、前記移動端末および固定端末が伝送するデータに加えて、前記移動端末の位置情報を伝送するようにしてもよい。また、好ましい態様として、前記移動端末は、例えば請求項 7 記載のように、定期的に、前記無線網を介して、対応する固定端末と接続し、自身の位置情報を固定端末に送信するようにしてもよい。

【0 0 0 9】 また、好ましい態様として、前記固定端末は、例えば請求項 8 記載のように、定期的に送信されてくる、前記移動端末の位置情報を記憶する位置情報記憶手段を備え、前記位置情報記憶手段に記憶した位置情報に基づいて、無線網を介して前記移動端末と回線を接続するようにしてもよい。また、好ましい態様として、前記固定端末は、例えば請求項 9 記載のように、定期的に送信されてくる、前記移動端末の位置情報を記憶する位置情報記憶手段に加え、前記位置情報で示され得る場所をサービスエリアとするページング網を記憶する対照表を備えるようにしてもよい。また、好ましい態様として、前記固定端末は、例えば請求項 1 0 記載のように、通常、前記記憶手段に記憶された、前記移動端末の位置情報に基づいて、前記無線網を介して、対応する移動端末と接続する一方、前記無線網を介しての接続が不可能な場合には、前記対照表に記憶されているページング網

を介して、前記移動端末にデータ授受が必要であることを通知するようにしてもよい。

【0010】また、好ましい態様として、前記固定端末は、例えば請求項1記載のように、前記ページング網毎に、各々で利用される受信周波数が記憶された周波数記憶手段を備え、前記位置情報記憶手段に記憶されている位置情報が前記移動端末によって更新されると、更新された位置情報に基づいて、前記周波数記憶手段から対応するページング網の受信周波数を読み出し、前記移動端末へ送信するようにしてもよい。また、好ましい態様として、前記移動端末は、例えば請求項12記載のように、前記無線網とデータを授受する送受信手段と、ページング網毎の受信周波数で各々のページャ信号を受信する受信手段と、前記固定端末から送信されてきた、ページング網の受信周波数を発生する受信周波数発生手段とを備え、前記受信周波数発生手段で発生した受信周波数を前記受信手段に供給するようにしてもよい。

【0011】また、好ましい態様として、前記固定端末は、例えば請求項13記載のように、それと対となっている移動端末の位置情報を記憶し、前記移動端末は、他の移動端末に回線を接続する場合、前記無線網および前記地上網を介して、前記他の移動端末に対となる固定端末と回線を接続し、該固定端末に記憶されている前記他の移動端末の位置情報を受信した後、該位置情報に基づいて、前記他の移動端末と回線を接続するようにしてもよい。また、好ましい態様として、前記移動端末は、例えば請求項14記載のように、前記他の移動端末が接続可能なページング網をも、認知するようにしてもよい。

【0012】また、好ましい態様として、前記移動端末は、例えば請求項15記載のように、他の移動端末との間で、無線網の仕様が互いに異なり、通信手順変換機能がない場合には、前記他の移動端末に対応する固定端末にデータを送信し、前記固定端末は、前記移動端末からのデータを受信すると、前記位置情報記憶手段に記憶されている位置情報に基づいて、前記他の移動端末と回線を接続し、受信したデータを当該他の移動端末へ送信するようにしてもよい。

【0013】また、好ましい態様として、前記移動端末は、例えば請求項16記載のように、前記無線網は、島状で、地域毎の部分的なサービスエリアを有する複数の基地局と、該複数の基地局を統合するとともに、前記地上網との中継を行うゲートウェイ局とから構成されるようにしてもよい。また、好ましい態様として、前記位置情報は、例えば請求項17記載のように、前記無線網を構成する基地局とゲートウェイ局の各々に割り当てられた固有の識別番号であって、通信に係る基地局の識別番号とゲートウェイ局の識別番号とであってもよい。

【0014】

【作用】本発明では、移動端末と地上網に接続された固定端末とを対応させるとともに、移動端末と地上網とを

接続するための無線網を設ける。移動端末から回線を接続する場合には、移動端末は、無線によって無線網を介して地上網に接続することによって、該地上網に接続され、当該移動端末に対応する固定端末と回線を接続する。また、固定端末から回線を接続する場合には、地上網、無線網を介して、対応する移動端末に接続要求を送信することによって、当該移動端末と回線を接続する。移動端末とそれに対応する固定端末とは、回線が接続されると、相互にデータを授受する。したがって、移動端末と固定端末、もしくは移動端末同士との間で、利用者にとって容易に、かつ確実にデータ授受することが可能となる。

【0015】

【実施例】以下、図面を参照して本発明の実施例について説明する。なお、以下で説明する通信システムの構成は、後述する第1の実施例ないし第4の実施例で共通である。

A. 実施例の構成

A-1. 通信システムの構成

図1は本発明の実施例による通信システムの構成を示すブロック図である。図において、1は、一般公衆網、それに代わり得る専用網等からなる地上網である。該地上網1には、事務所等に設置された、据え置き型PC2、3がモデム（図示略）を介して接続されているとともに、情報サービス提供者4のコンピュータがモデム（図示略）を介して接続されている。上記据え置き型PC2、3は、各々、後述する無線機能付き携帯パーソナルコンピュータ（以下、携帯RPCという）20、21のホストコンピュータである。さらに、該地上網1には、所定のサービスエリア5a、6aを有し、該サービスエリア5a、6a内の携帯RPC20、21へ無線によりデータを送信するページング基地局5、6が配設されている。このページング基地局5、6を配設することにより、利用者に携帯され、地上網1に直接、接続されていない携帯RPC20、21を地上網1に接続することが可能となっている。

【0016】また、地上網1には、専用無線網ゲートウェイ局7、8が接続されている。該専用無線網ゲートウェイ局7、8は、各々、専用無線網のサービスエリア9a、10aを有する基地局9、10、および専用無線網のサービスエリア11a、12aを有する基地局11、12を地上網1に接続するための中継局として機能している。基地局9、10および基地局11、12は、各々、上述したように、所定の範囲を網羅する専用無線網のサービスエリア9a、10aおよびサービスエリア11a、12aを有しており、それぞれのサービスエリア内に存在する携帯RPCと無線によりデータの授受を行うようになっている。

【0017】上述した携帯RPC20、21は、利用者に携帯され、種々のソフトウェアにより、スケジュール

帳や、電話帳、メモ帳、ワードプロセッサ等の機能を備えているとともに、上述したように、専用無線網およびページング網を介してデータ授受を行う無線通信機能を備えている。すなわち、携帯 R P C 2 0、2 1 は、ページングサービスエリア 5 a、6 a 内に存在する場合は、ページング基地局 5、6 からのデータを受信することができる。すなわち、携帯 R P C 2 0、2 1 は、各々、その存在する場所に応じて、ページング基地局 5、6、または専用無線網ゲートウェイ局 7、8 と、その基地局 9、1 0、1 1、1 2 とを介して、据え置き型 P C 2、3 と接続される。この場合、携帯 R P C 2 0 は、据え置き型 P C 2 に対応しており、携帯 R P C 2 1 は、据え置き型 P C 3 に対応している。

【0018】B. 第 1 の実施例

次に、上述した構成による第 1 の実施例の動作について説明する。なお、以下では、据え置き型 P C 2 とそれに対応する携帯 R P C 2 0 を例に説明するが、据え置き型 P C 3 とそれに対応する携帯 R P C 2 1 でも同様である。

【0019】B-1. 第 1 の実施例の動作

(1) ページング網を利用する場合

まず、ページング網と専用無線網を利用してデータ授受を行う場合について説明する。ここで、図 2 は、ページング網を利用してデータを受信する場合の動作を説明するためのフローチャートである。据え置き型 P C 2 は、まず、ステップ S 1 0 において、外部の据え置き型 P C 3 または情報提供者 4 からデータが入力されたか否かを判断する。そして、データが入力されていない場合は、ステップ S 1 0 を繰り返し実行する。一方、外部の据え置き型 P C 3 または情報提供者 4 からデータが入力されると、ステップ S 1 0 における判断結果は「YES」となり、ステップ S 1 2 へ進む。ステップ S 1 2 では、ページング網 5 a を起動する。次に、ステップ S 1 4 において、ページング網 5 a のページング基地局 5 を介して、当該据え置き型 P C 2 に対応する携帯 R P C 2 0 に呼び出し信号を送出する。

【0020】これに対して、ページング網では、ページング基地局 5 がステップ S 3 0 において、起動要求があったか否かを判断しており、起動要求があるまで、同ステップ S 3 0 を繰り返し実行する。そして、据え置き型 P C 2 からの上記起動要求があると、ステップ S 3 0 における判断結果は「YES」となり、ステップ S 3 2 へ進む。据え置き型 P C 2 は、ステップ S 1 4 において、対応する携帯 R P C 2 0 に呼出信号を送出する。一方、ページング網では、ステップ S 3 2 において、上記呼出信

号を受信し、ステップ S 3 4 において、ページング基地局 5 を介して、呼出信号を対応する携帯 R P C 2 0 へ送信する。

【0021】これに対して、携帯 R P C 2 0 は、ステップ S 5 0 において、呼出信号を受信したか否かを判断しており、呼出信号を受信していなければ、同ステップ S 5 0 を繰り返し実行する。そして、ページング基地局 5 からの呼出信号を受信すると、ステップ S 5 0 における判断結果は「YES」となり、ステップ S 5 2 へ進む。ステップ S 5 2 では、その内部に持つ専用無線網の無線回路（図示略）を起動する。次に、ステップ S 5 4 において、専用無線網のいずれか近傍の基地局、この場合、基地局 9 と接続する。次に、ステップ S 5 6 において、ゲートウェイ局 7、地上網 1 を介して、据え置き型 P C 2 と回線を接続する。この結果、ステップ S 5 8 において、基地局 9、ゲートウェイ局 7 および地上網 1 を介して、すなわち専用無線網を介して、据え置き型 P C と相互に必要なデータを授受する。そして、データ授受が終了すると、当該処理を終了する。なお、入力されたデータが簡単なデータであるなら、上記ステップ S 1 4 で送出する呼出信号とともに、そのデータを付加して携帯 R P C に送信してもよい。この場合、上記入力データは、ページングサービスに適応したデータ構造に変換して送信する。

【0022】(2) 専用無線網だけを利用する場合

次に、専用無線網だけを利用してデータ授受を行う場合について説明する。ここで、図 3 は、専用無線網だけを利用してデータ授受を行う場合の動作を説明するためのフローチャートである。据え置き型 P C 2 は、まず、ステップ S 7 0 において、外部の据え置き型 P C 3 または情報提供者 4 からデータが入力されたか否かを判断する。そして、データが入力されていない場合は、ステップ S 7 0 を繰り返し実行する。一方、外部の据え置き型 P C 3 または情報提供者 4 からデータが入力されると、ステップ S 7 0 における判断結果は「YES」となり、ステップ S 7 2 へ進む。ステップ S 7 2 では、その内部に持つ携帯 R P C 2 に関する情報に基づいて、地上網 1 に接続されている専用無線網ゲートウェイ局 7 を呼び出す。

【0023】これに対して、専用無線網では、専用無線網ゲートウェイ局 7 がステップ S 8 0 において、接続要求があったか否かを判断し、接続要求がなければ、同ステップ S 8 0 を繰り返し実行する。一方、接続要求があると、ステップ S 8 0 における判断結果は「YES」となり、ステップ S 8 2 へ進む。ステップ S 8 2 では、基地局 9 を介して携帯 R P C 2 0 と無線回線を接続する。

【0024】携帯 R P C 2 0 では、ステップ S 9 0 において、呼び出しがあったか否かを判断しており、呼び出しがなければ、同ステップ S 9 0 を繰り返し実行する。一方、呼び出しがあると、ステップ S 9 0 における判断

結果は「YES」となり、ステップS92へ進む。そして、携帯RPC20と据え置き型PC2とは、各々、専用無線網ゲートウェイ局7におけるステップS84での中継により、ステップS74とステップS92でデータを授受する。そして、データ授受が終了すると、当該処理を終了する。このようにして、携帯RPC20と据え置き型PC2とは、専用無線網のみを介して相互に必要なデータを授受する。

【0025】(3) 携帯RPCからの接続要求

上述した動作では、据え置き型PC2から携帯RPC20を呼び出す場合について説明したが、携帯RPC20から呼び出す場合についても同様で、まず、携帯RPC20は、データが必要な場合には、専用無線網の無線回路(図示せず)を起動して、専用無線網の任意の基地局、例えば基地局9と接続し、ゲートウェイ局20を介して、地上網1に接続される。この結果、携帯RPC20と据え置き型PC2とは、専用無線網を介して相互に必要なデータを授受する。

【0026】B-2. 第1の実施例の効果

上述したように、本第1の実施例では、携帯RPC20、21とそれに対応する地上網1に接続されている据え置き型PC2、3、地上網1に接続されている専用無線網(サービスエリア9a、10a、11a、12a)、および地上網1に接続されるページャ網(サービスエリア5a、6a)から構成されるようにしたので、相互に発信・着信が可能で、地上網1に固定的に接続される端末である据え置き型PC2、3とその他の端末との間でデータ(例えば、電子メール、テキストデータ等)の授受が可能となる。

【0027】C. 具体的な通信システム

上述した図1に示す通信システムで使用する専用無線網は、普及を容易にするために簡易なシステム構成が望まれる。専用無線網は、その建設コスト、維持運用費用等の経済的な観点から連続的に全ての地域を網羅するものではなく、島状に、地域毎に、部分的にサービス範囲を拡大していくものと考えられる。そこで、本通信システムでは、上述した通信システムの構成を簡素化するために、以下で述べるデータ形式で通信を行うようになっている。

【0028】C-1. 本通信システムの構成

図4は、本通信システムの構成を示すブロック図であり、上述した図1に示す通信システムの一部をより具体化したものである。なお、図1に対応する部分には同一の符号を付けて説明を省略する。

(1) 通信システムの構成

図において、携帯RPC20は、ページング網に対する受信機能として、ページング網受信回路30、専用無線網30に対する発信機能と着信機能として、専用無線網送受信回路31および当該携帯RPCの全体を制御する制御回路32から略構成されている。また、図におい

て、専用無線網40は、1つのサービスエリアとして示しているが、実際には、基地局9～基地局12が網羅するサービスエリア(図1のサービスエリア9a、10a、11a、12a)を合成し、簡略化したものである。ゲートウェイ局7、8および基地局9、10、11、12には、上述したように、それぞれ固有の番号が割り当てられている。

【0029】携帯RPC20は、専用無線網40を介して据え置き型PC2と交信する場合、前述した第1の実施例で説明したように、専用無線網40の中で、最も近傍の基地局、言い換えると、自身が存在する場所をサービスエリアとしている基地局、例えば基地局9に接続され、さらに、ゲートウェイ局7、地上網1を介して、据え置き型PC2と接続されるようになっている。以下に、本通信システムで用いられる信号の一例について説明する。

【0030】(2) 無線信号の信号形式

まず、携帯RPC20から基地局9への無線信号310は、図5(a)に示す信号形式で示される構成を有している。図において、無線信号310は、信号同期と信号の開始を示すプリアンプル311、携帯RPC番号312、PC番号313、データ314、および終了を示すポストアンプル315から構成されている。

【0031】(3) 信号320の信号形式

次に、基地局9からゲートウェイ局7、地上網1を介して据え置き型PC2へ送信する信号320は、図5

(b)に示す信号形式を有している。図において、信号320は、通信網との接続のための発呼321、対応する据え置き型PCを識別するためのPC番号322、専用無線網との接続要求323、携帯RPC20が接続可能なゲートウェイ局を識別するためのゲートウェイ局番号324、同じく基地番号325、携帯RPC番号326、データ327、および終了信号328から構成されている。

【0032】(4) 信号330

次に、据え置き型PC2から地上網1を介してゲートウェイ局7を呼び出す場合に送信する信号330は、図5

(c)に示す信号形式を有している。信号330は、発呼331、ゲートウェイ局番号332、ゲートウェイ局との接続要求333、基地局番号334、携帯RPC番号335、PC番号336、データ337、および終了信号338から構成されている。

【0033】(5) 信号340

そして、基地局9から専用無線網特有の無線プロトコルを用いて携帯RPC20へ送信する信号340は、図5

(d)に示す信号形式を有している。図において、信号340は、無線回線の同期と信号開始のためのプリアンプル341、回線を接続する相手の携帯RPC番号342、発呼した据え置き型PCを識別する発呼PC番号343、基地局番号344、ゲートウェイ局番号345、

データ 3 4 6、および終了のためのポストアンプル 3 4 7 から構成されている。なお、上述した信号には、必要に応じてページング関連情報が追加される。

【0034】C-2. 本通信システムの呼び出し動作
まず、携帯 R P C 2 0 は、据え置き型 P C 2 へデータを伝送する際には、図 6 (a) に示すように、携帯 R P C 番号および据え置き型 P C 番号を含む信号 3 1 0 でデータを送信する。基地局 9 は、携帯 R P C 2 0 から無線信号 3 1 0 を受信すると、同図 6 (a) に示すように、発呼した携帯 R P C を識別するための携帯 R P C 番号、および着呼先の据え置き型 P C 2 を識別するための据え置き型 P C 番号に、網接続要求、当該基地局番号、およびゲートウェイ局番号を付加して、地上網 1 を介して据え置き型 P C 9 へ送信する。

【0035】一方、据え置き型 P C 2 は、携帯 R P C 2 0 にデータを送信する際には、図 6 (b) に示すように、受信したゲートウェイ局番号、基地局番号、携帯 R P C 番号、据え置き型 P C 番号に、ゲートウェイ局との接続要求を付加して、ゲートウェイ局 7 へ送信する。この結果、ゲートウェイ局 7 との接続処理が行われた後、ゲートウェイ局 2 4 0 は、基地局 9 に専用無線網 4 0 独自の方法で情報を転送し、基地局 9 は、専用無線網特有の無線プロトコルを用いて、図 6 (b) に示すように、携帯 R P C 2 0 を識別する携帯 R P C 番号、当該据え置き型 P C 2 を識別する据え置き型 P C 番号、基地局番号、ゲートウェイ局番号を携帯 R P C 2 0 へ送信する。

【0036】このように、携帯 R P C 2 と据え置き型 P C 2 0 との間では、発呼元の携帯 R P C 番号と着呼先の据え置き型 P C 番号に加え、さらに、中継する基地局番号とゲートウェイ局番号が付加されるので、携帯 R P C 2 0 と据え置き型 P C 2 とは非常に容易に接続される。また、専用無線網 4 0 と地上網 1 は、双方向伝送路であるから、この伝送において携帯 R P C 2 0 と据え置き型 P C 2 との間でデータが授受される。

【0037】本通信システムの場合、携帯 R P C 2 0、2 1 が接続できるゲートウェイ局 7、8 で代表される専用無線網は、同一の技術的特性を持つ必要はなく、専用無線網に課せられる条件としては、携帯 R P C 2 0 (2 1) と据え置き型 P C 2 (3) 間のデータを授受でき、地上網 1 と接続でき、携帯 R P C 番号、P C 番号、基地局番号、およびゲートウェイ局番号等を制御情報として授受できることである。これは、ゲートウェイ局 7 がフィールドサービス用の端末をサポートする広域専用無線網で、ゲートウェイ局 8 がフィールドサービスをサポートする社内の技術・管理部門の端末が接続される小エリアの無線 L A N のような専用無線網の例が考えられる。

【0038】このような場合、図 1 に示すゲートウェイ局 7、8 は、地上網 1 との接続と、据え置き型 P C 2、3 との接続とが可能であれば、据え置き型 2、3 を中継としてデータの授受が可能である (後述する)。また、

それぞれの専用無線網のゲートウェイ局 7、8 が相互に相手のプロトコルと変換可能であれば、それぞれの専用無線網 (サービスエリア) に存在する携帯 R P C 2 0、2 1 間でデータの授受が可能である。

【0039】C-3. 本通信システムの効果

上述したように、本通信システムでは、専用無線網を構成する基地局 9、10、11、12 と、ゲートウェイ局 7、8 との各々に、固有の番号を割り当て、これらが構成する網を利用して通信する携帯 R P C 2 0、2 1 に、通信回線に係る基地局 9、10、11、12 の基地局番号とゲートウェイ局 7、8 のゲートウェイ局番号を通知するようにしたので、通信回線の設定を容易に実現できるようになる。

【0040】D. 携帯端末の移動に関する実施例

上述した第 1 の実施例では、専用無線網を介して携帯 R P C 2 0 と据え置き型 P C 2 との間での回線接続について述べた。この場合、携帯 R P C 2 0 が移動しない場合には、特に問題が生じないが、携帯 R P C 2 0 は利用者に携帯され、移動することが前提であるので、携帯 R P C 2 0 が異なるサービスエリアへ移動した場合には、据え置き型 P C 2 からは、携帯 R P C 2 0 がどこにあるかが分からないため、回線を接続することができなくなる可能性がある。

【0041】このような不具合を解消する方法として、自動車電話に代表される従来の移動通信網では、一般的に、ゲートウェイ局 7、8 の各々に、携帯 R P C 2 0 の携帯 R P C 番号とそれが存在する基地局の基地局番号を記憶するメモリを備え、常に、携帯 R P C 2 0 の存在する基地局を追跡しながら、そのメモリの内容を書き換える方式が使用されている。

【0042】しかしながら、上記従来のシステムでは、メモリとその内容更新のために、携帯 R P C 2 0 の追跡、また、ゲートウェイ局 7、8 間のメモリ内容の授受等の処理が必要となり、地上網 1 に信号線以外の制御線が必要となるため、システム全体のコストアップにつながるという欠点がある。

【0043】そこで、本実施例では、携帯 R P C 2 0 が最初に通信を行った基地局のサービスエリアから離れ、異なる基地局のサービスエリアへ移動した場合でも、据え置き型 P C 2 には、新たな基地局の番号を通知し、地上網 1 を介して、新たな基地局を呼び出し可能にし、据え置き型 P C 2 から携帯 R P C 2 0 を呼び出せるようにしている。すなわち、携帯 R P C 2 0 は、周期的に自身が呼び出し可能な専用無線網の基地局と接続し、専用無線網のゲートウェイ局を介して、対応する据え置き型 P C 2 と接続し、互いに記憶している基地局番号とゲートウェイ局番号とを更新するようにしている。

【0044】D-1. 構成

図 7 は、本実施例による通信システムの構成を示すブロック図であり、上述した図 1 に示す通信システムの一部

をより具体化したものである。なお、図 1 もしくは図 4 に対応する部分には同一の符号を付けて説明を省略する。図において、携帯 R P C 2 0 は、ページング網受信回路 3 0、専用無線網送受信回路 3 1 および当該携帯 R P C の全体を制御する制御回路 3 2 に加えて、各種データを格納する記憶回路 3 3 a、3 3 b、3 3 c を備えている。また、上記携帯 R P C 2 0 に対応する据え置き型 P C 2 は、携帯 R P C 2 0 が存在する場所をサービスエリアとする基地局に接続されているゲートウェイ局を識別するためのゲートウェイ局番号を記憶するためのメモリ 3 5 a と、上記基地局を識別するための基地局番号を記憶するためのメモリ 3 5 b を備えている。このメモリ 3 5 a、3 5 b は、最新の基地局番号とゲートウェイ局番号と、これまでの基地局番号とゲートウェイ局番号の履歴の一部を記憶するようにしている。

【0045】D-2. 動作

携帯 R P C 2 0 は、周期的に自身が呼び出し可能な専用無線網 4 0 の基地局 9 と接続し、図 8 (a) に示すように、専用無線網 4 0 と地上網 1 を介して、前述した信号 3 1 0、3 2 0 を据え置き型 P C 2 へ送信する。据え置き型 P C 2 は、メモリ 3 5 a にゲートウェイ局 7 のゲートウェイ局番号を記憶するとともに、メモリ 3 5 b に基地局 9 の基地局番号を記憶する。このとき、据え置き型 P C 2 は、図 8 (b) に示すように、専用無線網 4 0 と地上網 1 を介して、前述した信号 3 3 0、3 4 0 を携帯 R P C 2 0 へ送信する。携帯 R P C 2 0 は、記憶回路 3 3 a、3 3 b、3 3 c に、基地局 9 の基地番号とゲートウェイ局 7 のゲートウェイ局番号とを記憶する。この結果、据え置き型 P C 2 に記憶される、携帯 R P C 2 0 が存在するゲートウェイ局のゲートウェイ局番号と、基地局の基地局番号とは、周期的に最新のものに更新される。

【0046】したがって、携帯 R P C 2 0 が移動し、基地局 1 2 のサービスエリアに入った場合でも、据え置き型 P C 2 のメモリ 3 5 a、3 5 b の最新の部分には、ゲートウェイ局 8 のゲートウェイ局番号と、基地局 1 2 の基地局番号とが記憶されているので、据え置き型 P C 2 は、図 8 (b) に示すように、メモリ 3 5 a、3 5 b を参照することにより、信号 3 3 0 で地上網 1 を介して携帯 R P C 2 0 を呼び出し、携帯 R P C 2 0 と回線を接続することができる。

【0047】このように、本実施例では、携帯 R P C 2 0 に対応する据え置き型 P C 2 で、上述した全ての処理を行わせることで、専用無線網 4 0 の機能、構成を非常に簡素化することができるようになっている。すなわち、携帯 R P C 2 0 は、周期的に、近傍の専用無線網と交信し、その位置情報を据え置き型 P C 2 に通知することで、据え置き型 P C 2 がメモリ 3 5 a、3 5 b に記憶している携帯 R P C 2 0 の位置情報（ゲートウェイ局番号、基地局番号）を常に更新するようになっている。

【0048】D-3. 本実施例の効果

上述したように、本実施例では、携帯 R P C 2 0 は、周期的に専用無線網 4 0 と無線接続し、地上網 1 を介して接続される、当該携帯 R P C 2 0 に対応する据え置き型 P C 2 と接続して、互いに、および専用無線網との間で、管理情報データを授受することで、携帯 R P C 2 0 が呼び出し可能な、すなわち携帯 R P C 2 0 が存在するサービスエリアの基地局番号およびゲートウェイ局番号を記憶するメモリの内容を更新するようにしたので、据え置き型 P C 2 は、対応する携帯 R P C 2 0 を専用無線網を介して常時呼び出すことができる。このため、専用無線網 4 0 のシステムを非常に簡素化でき、しかも、携帯 R P C 2 0 が移動した場合でも、回線が途切れることなく、地上網 1 側の据え置き型 P C 2 からデータを送信できる。

【0049】E. 第 2 の実施例

上述した実施例では、専用無線網 4 0 を主体にした、携帯 R P C 2 0 と据え置き型 P C 2 との間での通信形態について述べた。また、第 1 の実施例では、専用無線網は、必ずしも広い領域をサービスエリアとするわけではないことを述べた。したがって、据え置き型 P C 2 から地上網 1 を介して、専用無線網 4 0 のゲートウェイ局のゲートウェイ局番号と、基地局の基地局番号とを指定しても、携帯 R P C 2 0 の存在する場所によっては、携帯 R P C 2 0 を呼び出すことが不可能な場合があり得る。そこで、本第 2 の実施例では、専用無線網 2 0 を用いての回線確立が不可能な場合には、図 1 に示すページャ網 5 a、6 a を用いて携帯 R P C 2 0 にデータの授受が必要であることを通知することで、携帯 R P C 2 0 が上記専用無線網 4 0（サービスエリア）外に存在する場合でも回線確立を可能にしている。

【0050】E-1. 第 2 の実施例の構成

図 9 は、本第 2 の実施例による通信システムの構成を示すブロック図であり、上述した図 1 に示す通信システムの一部をより具体化したものである。なお、図 1、図 4 もしくは図 7 に対応する部分には同一の符号を付けて説明を省略する。図において、携帯 R P C 2 0 における制御回路 3 2 は、利用者に据え置き型 P C 2 からのデータ要求があることを知らせるようになっている。

【0051】据え置き型 P C 2 6 0 は、専用無線網 4 0 のゲートウェイ局のゲートウェイ局番号と基地局番号に対応するページング網のページング網番号が記憶された対照表 3 5 c を備えている。ここで、図 1 0 は、対照表 3 5 c のデータ構成を示す概念図である。図において、対照表 3 5 c には、ゲートウェイ局番号と基地局番号毎に、このゲートウェイ局と基地局によるサービスエリアを網羅するページング網のページング網番号が記憶されている。図示の例では、ゲートウェイ局番号 G W N 1、基地局番号 B S N 1 に対しては、ページング網番号 P N N 1 が記憶されており、ゲートウェイ局番号 G W N 2、

基地局番号 B S N 2 に対しては、ページング網番号 P N N 2 が記憶されている。これを図 1 に示す構成に対応させると、ゲートウェイ局 7 の基地局 9 および基地局 1 0 に対しては、ページング基地局 5 a のページング網が対応しており、ゲートウェイ局 8 の基地局 1 1 および基地局 1 2 に対しては、ページング基地局 6 のページング網が対応している。

【 0 0 5 2 】 据え置き型 P C 2 6 0 は、携帯 R P C 2 0 の存在するであろう位置を推定し、その位置に対応するページング網を対照表 3 5 c から読み出すようになっている。携帯 R P C 2 0 0 の存在位置の推定は、メモリ 3 5 a に記憶されているゲートウェイ局番号およびメモリ 3 5 b に記憶されている基地局の履歴に基づいて行われる。

【 0 0 5 3 】 E - 2 . 第 2 の実施例の動作

図 1 1 は、本第 2 の実施例による据え置き型 P C の動作を説明するためのフローチャートである。まず、据え置き型 P C 2 は、信号 3 1 0 を地上網 1 の通信手順に従って送信することで、図 1 1 に示す、携帯 R P C 2 0 の呼び出し処理を開始する。据え置き型 P C 2 は、まず、ステップ S 1 0 0 において、メモリ 3 5 a に記憶しているゲートウェイ局番号を指定する。次に、ステップ S 1 0 2 において、メモリ 3 5 b に記憶している基地局番号を指定する。次に、ステップ S 1 0 4 において、携帯 R P C 2 0 からの応答があったか否かを判断する。そして、応答があった場合には、ステップ S 1 0 4 における判断結果は「 Y E S 」となり、ステップ S 1 0 6 へ進む。ステップ S 1 0 6 では、通常の交信モードを実施し、専用無線網 4 0 を介して、携帯 R P C 2 0 とデータを授受する。その後、当該処理を終了する。

【 0 0 5 4 】 一方、携帯 R P C 2 0 からの応答がない場合には、ステップ S 1 0 4 における判断結果は「 N O 」となり、ステップ S 1 0 8 へ進む。ステップ S 1 0 8 では、再度、専用無線網 4 0 に対して回線接続要求を送出する。次に、ステップ S 1 1 0 へ進み、メモリ 3 5 a , 3 5 b に記憶されている、ゲートウェイ局番号と基地局番号の履歴に基づいて、周辺の基地局のサーチを実施する。つまり、据え置き型 P C 2 のメモリ 3 5 a , 3 5 b には、各々、携帯 R P C 2 0 が周期的に接続する際に、専用無線網 4 0 のゲートウェイ局から転送されてくるゲートウェイ局番号と基地局番号のこれまでの履歴の一部が記憶されているので、該履歴に従って接続を試みる。次に、ステップ S 1 1 2 において、上記試みに対する専用無線網 4 0 からの応答があったか否かを判断する。そして、応答があった場合には、ステップ S 1 1 2 における判断結果は「 Y E S 」となり、上述したステップ S 1 0 6 へ進み、通常の交信モードを実施し、専用無線網 4 0 を介して、携帯 R P C 2 0 とデータを授受する。

【 0 0 5 5 】 一方、応答がない場合には、ステップ S 1 1 2 における判断結果は「 N O 」となり、ステップ S 1

1 4 へ進む。ステップ S 1 1 4 では、専用無線網 4 0 に対する回線接続処理を終了する。次に、ステップ S 1 1 6 において、新たにページング網との接続を開始する。据え置き型 P C 2 0 からページング網に接続する場合、据え置き型 P C 2 は、メモリ 3 5 a , 3 5 b に記憶されている履歴に基づいて、携帯 R P C 2 0 の存在するであろう位置を推定し、その位置に対応するページング網を対照表 3 5 c から読み出して、ページング網との接続を試みる。そして、ページング網との接続が成立すると、ステップ S 1 1 8 において、ページング網に携帯 R P C 2 0 へのメッセージ要求を要求し、その後、当該処理を終了する。携帯 R P C 2 0 では、ページング網を介して、据え置き型 P C 2 からのメッセージ要求を受信すると、制御回路 3 2 が利用者に据え置き型 P C 2 からのデータ要求があることを知らせる。

【 0 0 5 6 】 E - 3 . 第 2 の実施例の効果

上述したように、本第 2 の実施例では、据え置き型 P C 2 が携帯 R P C 2 0 とのデータ授受が必要な場合、通常、据え置き型 P C 2 は、自身のメモリ 3 5 a , 3 5 b に記憶されている携帯 R P C 2 0 が存在する専用無線網 4 0 のゲートウェイ局のゲートウェイ局番号と、基地局の基地局番号とに基づいて、地上網 1、専用無線網 4 0 を介して発呼することによって回線接続を行うが、専用無線網 4 0 を用いての回線接続が不可能な場合には、ページング網を用いて、携帯 R P C 2 0 にデータ授受が必要であることを通知するようにしたので、携帯 R P C 2 0 が、据え置き型 P C 2 が持つメモリ 3 5 a , 3 5 b に記憶されているゲートウェイ局および/または基地局のサービスエリアから移動した場合であっても、データの授受のための回線接続要求を通知できる。

【 0 0 5 7 】 F . 第 3 の実施例

上述した第 2 の実施例では、携帯 R P C 2 0 への着信にページング網を用いることを述べた。ページング網は、非常に広い範囲に存在する移動端末へ、少ない地上設備でメッセージを伝送することが可能である。また、ページング網は、地域毎に、同一の周波数を用いる場合と、異なる周波数を用いる場合とがあり、同一サービス地域においては、加入しているページャ網の事業者により受信周波数が異なる。そこで、本第 3 の実施例では、携帯 R P C 2 0 に備えられているページング網受信回路 3 0 が受信周波数を選択できるようにし、さらに、第 2 の実施例で述べたように、専用無線網 4 0 のサービス範囲以外に移動した場合にも対応するために、携帯 R P C 2 0 に受信に用いる受信周波数を複数記憶している。

【 0 0 5 8 】 F - 1 . 第 3 の実施例の構成

図 1 2 は、本第 3 の実施例による通信システムの構成を示すブロック図であり、上述した図 1 に示す通信システムの一部をより具体化したものである。なお、図 1、図 4、図 7 もしくは図 9 に対応する部分には同一の符号を付けて説明を省略する。図において、携帯 R P C 2 0

は、前述した、ページング網受信回路 3 0、専用無線周波数受信回路 3 1、および制御回路 3 2に加えて、上記ページング網受信回路 3 0の受信周波数を生成する受信周波数発生回路 3 7を備えている。受信周波数発生回路 3 7は、据え置き型 P C 2から送信されてくる、携帯 R P C 2 0が存在する地域のページング事業者とその受信周波数に基づいて、上記受信周波数を生成し、ページング網受信回路 3 0へ供給する。

【0 0 5 9】また、据え置き型 P C 2は、携帯 R P C 2 0が存在するゲートウェイ局と基地局とを知ることにより、その地域のページング事業者とその受信周波数を知ることができるように、ページング事業者とその受信周波数が記憶された対照表 3 5 dを備えている。ここで、図 1 3は、対照表 3 5 dのデータ構成を示す概念図である。図において、対照表 3 5 dには、前述した対照表 3 5 cと同様に、ゲートウェイ局番号と基地局番号毎に、このゲートウェイ局と基地局によるサービスエリアを網羅するページング網のページング網番号が記憶されているとともに、ページング事業者毎に、その受信周波数が記憶されている。図示の例では、ゲートウェイ局番号 G W N 1、基地局番号 B S N 1に対しては、ページング網番号 P N N 1が記憶されており、ゲートウェイ局番号 G W N 2、基地局番号 B S N 2に対しては、ページング網番号 P N N 2が記憶されている。

【0 0 6 0】また、ページング事業者 P G E 1に対しては、受信周波数 f 1が記憶されており、ページング事業者 P G E 2に対しては、受信周波数 f 2が記憶されている。なお、記憶するページング事業者とその受信周波数は、携帯 R P Cの移動範囲に応じて、複数の受信周波数を記憶することが好ましい。ページング網が分かれば、ページング事業者が特定できるので、図 1 3に示すテーブルからそのページング事業者で使用される受信周波数を知ることができる。据え置き型 P C 2は、メモリ 3 5 a、3 5 bが更新された場合に、その更新された内容に対応するページング事業者とその受信周波数を対照表 3 5 dから読み出して、地上網 1および専用無線網 4 0を介して、携帯 R P C 2 0にデータとして伝送する。

【0 0 6 1】F - 2. 第 3の実施例の動作

図 1 4は、本第 3の実施例による据え置き型 P Cおよび携帯 R P Cの動作を説明するためのフローチャートである。携帯 R P C 2 0は、前述したように、専用無線網 4 0と地上網 1とを介して、据え置き型 P C 2と接続され、データを授受する。このとき、据え置き型 P C 2は、データ授受の際に、携帯 R P C 2 0の位置情報（ゲートウェイ局番号、基地局番号）を専用無線網 4 0を介して授受し、メモリ 3 5 a、3 5 bに記憶している。

【0 0 6 2】このような状況の下、まず、据え置き型 P C 2は、ステップ S 1 2 0において、メモリ 3 5 a、3 5 bの内容（ゲートウェイ局番号、基地局番号）が更新されたか否かを判断する。すなわち、携帯 R P C 2 0が

移動し、サービスエリアが変わったか否かを判断する。そして、メモリ 3 5 a、3 5 bの内容が更新されなければ、携帯 R P C 2 0は移動していないと判断し、ステップ S 1 2 0における判断結果が「NO」となり、当該処理を終了する。

【0 0 6 3】一方、メモリ 3 5 a、3 5 bの内容が更新されると、ステップ S 1 2 0における判断結果は「YES」となり、ステップ S 1 2 2へ進む。ステップ S 1 2 2では、更新されたメモリ 3 5 a、3 5 bの内容、すなわち最新のゲートウェイ局番号と基地局番号とに基づいて、対照表 3 5 dから、まず、携帯 R P C 2 0が存在するページング網を検索し、さらに、該ページング網のページング事業者を読み取る。次に、ステップ S 1 2 4において、対照表 3 5 dから上記ページング事業者の受信周波数を読み取る。次に、ステップ S 1 2 6では、メモリ 3 5 a、3 5 bに記憶されている最新のゲートウェイ局番号と基地局番号とに基づいて、専用無線網 4 0を介して、携帯 R P C 2 0を呼び出す。そして、ステップ S 1 2 8で、応答があったか否かを判断する。そして、応答がなければ、同ステップ S 1 2 8を繰り返し実行し、応答があれば、ステップ S 1 3 0へ進む。ステップ S 1 3 0では、据え置き型 P C 2 6 0は、メモリ 3 5 a、3 5 bの更新された内容に対応するページング事業者とその受信周波数を、地上網、専用無線網を介して、携帯 R P C 2 0にデータとして伝送する。

【0 0 6 4】これに対して、携帯 R P C 2 0は、ステップ S 1 4 0において、呼び出しがあったか否かを判断しており、呼び出しがなければ、同ステップ S 1 4 0を繰り返し実行する。そして、上記呼び出しを受信すると、ステップ S 1 4 0における判断結果は「YES」となり、ステップ S 1 4 2へ進む。ステップ S 1 4 2では、データを受信したか否かを判断する。そして、データを受信していない場合には、ステップ S 1 4 2を繰り返し実行する。一方、データを受信すると、ステップ S 1 4 2における判断結果は「YES」となり、ステップ S 1 4 4へ進む。ステップ S 1 4 4では、受信したデータ、すなわち、上記ページング事業者およびその受信周波数を記憶回路 3 3 a、3 3 b、3 3 cのいずれかに記憶する。さらに、ステップ S 1 4 6において、その受信周波数をページング網用の受信周波数発生回路 3 7にデータとして与える。この結果、携帯 R P C 2 0は、現在、存在する地域のページング網を提供するページング事業者で使用される受信周波数で、ページング網を介した情報を受信できる。

【0 0 6 5】なお、据え置き型 P C 2は、ステップ S 1 2 8において、携帯 R P C 2 0を地上網・専用無線網を経由して呼び出せない場合には、前述した第 2の実施例で述べたように、ページング網を介して、携帯 R P C 2 0にデータ要求信号を送信してもよい。また、携帯 R P C 2 0は、与えられたページング網の受信周波数で、常

時、ページャ信号を受信モニタし、希望の信号が受信できない場合には、候補の受信周波数で受信を試み、さらに、その試みが失敗した場合には、予め設定された全ての受信周波数を試みることで、ページング網との接続を試行してもよい。

【 0 0 6 6 】 F - 3 . 第 3 の実施例の効果

上述したように、本第 3 の実施例では、携帯 R P C 2 0 に、複数の受信周波数で受信可能なページャ受信機能を備えるとともに、携帯 R P C 2 0 および据え置き型 P C 2 に、ページャ受信周波数を専用無線網を介してデータとして授受できる機能を備えるようにしたので、携帯 R P C 2 0 が専用無線網 4 0 のサービスエリア外に移動した場合でも、データ着信を通知でき、さらに、携帯 R P C 2 0 の移動が激しい場合でも、据え置き型 P C 2 からのデータ着信の情報をほぼリアルタイムで通知することができる。

【 0 0 6 7 】 G . 第 4 の実施例

次に、本発明の第 4 の実施例について説明する。本第 4 の実施例では、図 1 に示す携帯 R P C 2 0 と携帯 R P C 2 1 との間でデータを授受する通信方式に関するものであり、双方向携帯データ通信システムの構成については図 1 の構成と同一である。

【 0 0 6 8 】 G - 1 . 第 4 の実施例の動作

以下では、図 1 に示す携帯 R P C 2 1 から携帯 R P C 2 0 にデータを転送する場合について説明する。ここで、図 1 5 および図 1 6 は、本第 4 の実施例の動作を説明するためのフローチャートである。まず、発呼側の携帯 R P C 2 1 は、ステップ S 1 5 0 において、近傍の基地局、例えば基地局 1 1 を介して、専用無線網に接続要求を送出する。次に、ステップ S 1 5 2 において、応答があったか否かを判断する。そして、応答がなければ、同ステップ S 1 5 2 を繰り返し実行する。一方、応答があれば、ステップ S 1 5 2 における判断結果は「YES」となり、ステップ S 1 5 4 へ進む。ステップ S 1 5 4 では、着呼携帯 R P C 2 0 に対応する据え置き型 P C 2 を、専用無線網の基地局 9 とゲートウェイ局 7、さらに、地上網 1 を介して呼び出す。

【 0 0 6 9 】 これに対して、着呼側に対応した据え置き型 P C 2 では、ステップ S 1 8 0 において、呼び出しがあったか否かを判断している。そして、呼び出しがなければ、ステップ S 1 8 0 を繰り返し実行する。一方、呼び出しがあると、ステップ S 1 8 0 における判断結果が「YES」となり、ステップ S 1 8 2 へ進む。ステップ S 1 8 2 では、メモリ 3 5 a、3 5 b に格納されている、対応する携帯 R P C 2 0 が存在するゲートウェイ局のゲートウェイ局番号と基地局の基地局番号とを、発呼側の携帯 R P C 2 1 へ送信した後、処理を終了する。

【 0 0 7 0 】 一方、発呼側の携帯 R P C 2 1 は、ステップ S 1 5 6 において、上記据え置き型 P C 2 から送信されてきた、着呼側の携帯 R P C 2 0 のゲートウェイ局番

号と基地局番号とを受信し、ステップ S 1 5 8 へ進む。ステップ S 1 5 8 では、発呼側の携帯 R P C 2 1 と着呼側の携帯 R P C 2 0 とに対応する、ゲートウェイ局 8、7 に互いの通信手順変換機能があるか否かを判断する。そして、通信手順変換機能ある場合には、ステップ S 1 5 8 における判断結果は「YES」となり、ステップ S 1 6 0 へ進む。

【 0 0 7 1 】 ステップ S 1 6 0 では、ステップ S 1 5 6 で受信した、ゲートウェイ局番号と基地局番号とに基づいて、地上網 1 を介して、ゲートウェイ局 7、基地局 9 を介して、専用無線網で携帯 R P C 2 0 を呼び出し、ステップ S 1 6 2 において、応答があったか否かを判断する。これに対して、着呼側の携帯 R P C 2 0 は、ステップ S 1 9 0 において、呼び出しがあったか否かを判断し、応答がなければ、同ステップ S 1 9 0 を繰り返し実行する。一方、応答があれば、ステップ S 1 9 0 における判断結果は「YES」となり、ステップ S 1 9 2 へ進む。そして、発呼側の携帯 R P C 2 1 は、ステップ S 1 9 2 で、着呼側の携帯 R P C 2 0 は、ステップ S 1 9 2 で、相互にデータを授受する。

【 0 0 7 2 】 一方、ゲートウェイ局 8、7 に互いの通信手順の変換機能がない場合、上述したステップ S 1 5 8 における判断結果は「NO」となり、図 1 6 に示すステップ S 2 0 0 へ進む。発呼側の携帯 R P C 2 1 は、ステップ S 2 0 0 において、再度、近傍の基地局、例えば基地局 1 1 を介して、専用無線網に接続要求を送出する。次に、ステップ S 2 0 2 において、着呼側の携帯 R P C 2 0 に対応する据え置き型 P C 2 を、専用無線網の基地局 9 とゲートウェイ局 7、さらに、地上網 1 を介して呼び出す。そして、据え置き型 P C 2 と回線が接続されると、ステップ S 2 0 4 において、着呼側の携帯 R P C 2 0 へ送信すべきデータを、上記据え置き型 P C 2 へ送信する。ステップ S 2 0 6 では、回線が切断されたか否かを判断する。そして、切断されてなければ、ステップ S 2 0 6 における判断結果は「NO」となり、ステップ S 2 0 4、S 2 0 6 を繰り返し実行し、データを送信する。一方、データの送信が終了すると、当該処理を終了する。

【 0 0 7 3 】 これに対して、着呼側の据え置き型 P C 2 では、ステップ S 2 2 0 において、呼び出しがあったか否かを判断する。そして、呼び出しがなければ、ステップ S 2 2 0 を繰り返し実行する。一方、上記呼び出しを受信すると、ステップ S 2 2 0 における判断結果は「YES」となり、ステップ S 2 2 2 へ進む。そして、ステップ S 2 2 2 において、発呼側の携帯 R P C 2 1 から送信されるデータを受信する。そして、ステップ S 2 2 4 へ進み、回線が切断されたか否かを判断する。そして、切断されてなければ、ステップ S 2 2 4 における判断結果は「NO」となり、ステップ S 2 2 2、S 2 2 4 を繰り返し実行し、データを受信する。一方、データの受信

が終了すると、ステップ S 2 2 4 における判断結果は「YES」となり、ステップ S 2 2 6 へ進む。

【0074】着呼側の据え置き型 P C 2 は、ステップ S 2 2 6 において、メモリ 3 5 a に記憶されているゲートウェイ局番号を指定する。さらに、ステップ S 2 2 8 において、メモリ 3 5 b に記憶されている基地局番号を指定し、地上網 1、ゲートウェイ局 7、基地局 9 を介して、専用無線網で携帯 R P C 2 0 に回線接続要求を出す。そして、ステップ S 2 3 0 において、応答があったか否かを判断する。ここで、応答がなければ、同ステップ S 2 3 0 を繰り返し実行する。一方、応答があれば、ステップ S 2 3 0 における判断結果は「YES」となり、ステップ S 2 3 2 へ進む。ステップ S 2 3 2 では、専用無線網を介して、ステップ S 2 2 2 で携帯 R P C 2 1 から受信したデータを上記携帯 R P C 2 0 へ送信する。

【0075】この結果、ゲートウェイ局間で通信手順変換機能がなくとも、発呼側の携帯 R P C 2 1 は、まず、着呼側の携帯 R P C 2 0 に対応する据え置き型 P C 2 にデータを送信しておき、次に、当該据え置き型 P C 2 に

【0076】このように、端末間で授受するデータに、携帯 R P C 2 0 の存在位置情報を含めることにより、発呼側の携帯 R P C 2 1 は、携帯 R P C 2 0 と接続可能なゲートウェイ局 7 のゲートウェイ局番号と基地局 9 の基地局番号とを得ることができる。これらの情報に基づいて、発呼側の携帯 R P C 2 1 は、地上網 1、ゲートウェイ局 7、基地局 9 を介して、専用無線網で携帯 R P C 2 0 と回線を接続することができる。

【0077】発呼側の携帯 R P C 2 1 は、上述したステップ S 1 6 0、S 1 6 2 において、着呼側の携帯 R P C 2 0 に対応する据え置き型 P C 2 と交信するときに、着呼側の携帯 R P C 2 0 の位置情報として、専用無線網情報以外に、ページャ網情報を得ることができることから、専用無線網での応答がなければ、前述した第 2 の実施例と同様に、ページング網 5 a を利用して、携帯 R P C 2 0 に回線接続要求を送達してもよい。

【0078】このように、上述した本第 4 の実施例では、個々の移動端末、ここでは携帯 R P C 2 0 は、地上網 1 に固定的に接続されている据え置き型 P C 2 に対応しており、据え置き型 P C 2 が携帯 R P C 2 0 の位置情報、すなわち、携帯 R P C 2 0 が接続できる基地局 9 の基地局番号とゲートウェイ局 7 のゲートウェイ局番号とを記憶しているので、移動通信網である専用無線網 4 0 は、携帯 R P C 2 0、2 1 のデータベースとそれを維持管理するための専用制御線を持つ必要がなくなる。

【0079】G - 3. 第 4 の実施例の効果

上述したように、本第 4 の実施例では、携帯 R P C 2 0、2 1 と据え置き型 P C 2、3 とを対応させ、据え置

き型 P C 2、3 を地上網に固定的に接続し、携帯 R P C 2 0、2 1 と据え置き型 P C 2、3 との間で、周期的に専用無線網における位置情報を授受するようにしたので、専用無線網で、移動端末を追跡接続するためのデータベースとそれを維持管理するための専用制御網を不要とし、専用無線網のシステムを非常に簡素化することができる。また、他の据え置き型 P C 3、または他の据え置き型 P C 3 に対応する携帯 R P C 2 1 から当該携帯 R P C 2 0 と接続する場合には、当該携帯 R P C 2 0 に対応する据え置き型 P C 2 を、まず、地上網 1 を介して呼び出し、当該携帯 R P C 2 0 の接続可能な専用無線網のゲートウェイ局番号と基地局番号、または、接続可能なページャ網を認知するようにしたので、直接、当該携帯 R P C 2 0 を呼び出すことができる。さらに、専用無線網の仕様が互いに異なり、ゲートウェイ局に通信手順変換機能がない場合には、据え置き型 P C 2、3 に、それぞれの専用無線網の通信手順で接続する機能を設けるようにしたので、据え置き型 P C 2、3 を中継することでデータの授受を行うことができる。

【0080】

【発明の効果】本発明によれば、移動端末と固定端末とを対応させ、固定端末を地上網に固定的に接続するとともに、移動端末を地上網に接続するための無線網を配設し、移動端末から回線を接続する場合には、移動端末は、無線によって無線網を介して地上網に接続することによって、該地上網に接続され、当該移動端末に対応する固定端末と回線を接続し、また、固定端末から回線を接続する場合には、地上網、無線網を介して、対応する移動端末に接続要求を送信することによって、当該移動端末と回線を接続するようにしたので、以下の効果を得ることができる。

(1) 相互に発信・着信が可能で、地上網に固定的に接続される固定端末とその他の端末との間でデータの授受ができる。

(2) 無線網を構成する基地局と、ゲートウェイ局との各々に、固有の番号を割り当て、これらが構成する網を利用して通信する移動端末に、通信回線に係る基地局の基地局番号とゲートウェイ局のゲートウェイ局番号を通知するようにしたので、通信回線の設定を容易に実現できる。

(3) 移動端末が周期的に移動端末の位置情報を記憶する位置情報記憶手段の内容を更新するようにしたので、固定端末は、対応する移動端末を無線網を介して常時呼び出すことができる。

(4) このため、無線網のシステムを非常に簡素化でき、しかも、移動端末が移動した場合でも、回線が途切れることなく、地上網側の固定端末からデータを送信できる。

(5) 固定端末が移動端末とのデータ授受が必要な場合で、無線網を用いての回線接続が不可能な場合には、ペ

ージング網を用いて、移動端末にデータ授受が必要であることを通知するようにしたので、移動端末が位置情報で示される場所から移動した場合であっても、データの授受のための回線接続要求を通知できる。

(6) 移動端末に、複数の受信周波数で受信可能なページャ受信機能を備えるとともに、移動端末および固定端末に、ページャ受信周波数を専用無線網を介してデータとして授受できる機能を備えるようにしたので、移動端末が無線網のサービスエリア外に移動した場合でも、データ着信を通知できる。

(7) さらに、移動端末の移動が激しい場合でも、固定端末からのデータ着信の情報をほぼリアルタイムで通知することができる。

(8) 無線網で移動端末を追跡接続するためのデータベースとそれを維持管理するための専用制御網を不要とし、専用無線網のシステムを非常に簡素化することができる。

(9) また、移動端末から他の固定端末または他の移動端末へデータを送信する場合には、まず、他の移動端末に対応する固定端末を呼び出し、他の移動端末の位置情報、または接続可能なページャ網を認知するようにしたので、直接、他の移動端末を呼び出すことができる。

(10) さらに、専用無線網の仕様が互いに異なり、ゲートウェイ局に通信手順変換機能がない場合でも、固定端末に、それぞれの専用無線網の通信手順で接続する機能を設けるようにしたので、固定端末を中継することでデータの授受を行うことができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】本発明の実施例による通信システムの構成を示すブロック図である。

【図 2】本発明の第 1 の実施例による通信システムのページング網を利用してデータを受信する場合の動作を説明するためのフローチャートである。

【図 3】本第 1 の実施例による通信システムの専用無線網だけを利用してデータ授受を行う場合の動作を説明するためのフローチャートである。

【図 4】本発明の第 1 の実施例による通信システム（一部）の構成を示すブロック図である。

【図 5】本第 1 の実施例による通信システムでのデータ形式を示す模式図である。

【図 6】本第 1 の実施例による通信システムでのデータ伝送の方式を示す模式図である。

【図 7】本第 1 の実施例による通信システム（一部）の構成を示すブロック図である。

【図 8】本第 1 の実施例による通信システムでのデータ伝送の方式を示す模式図である。

【図 9】本発明の第 2 の実施例による通信システム（一部）の構成を示すブロック図である。

【図 10】本第 2 の実施例による通信システムの対照表のデータ構成を示す概念図である。

10 【図 11】本第 2 の実施例による据え置き型 P C の動作を説明するためのフローチャートである。

【図 12】本発明の第 3 の実施例による通信システム（一部）の構成を示すブロック図である。

【図 13】本第 3 の実施例による通信システムの対照表のデータ構成を示す概念図である。

【図 14】本第 3 の実施例による据え置き型 P C および携帯 R P C の動作を説明するためのフローチャートである。

【図 15】本発明の第 4 の実施例の動作を説明するためのフローチャートである。

20 【図 16】本発明の第 4 の実施例の動作を説明するためのフローチャートである。

【符号の説明】

1 地上網

2, 3 据え置き型 P C（固定端末）

4 情報サービス提供者

5, 6 ページング基地局

5 a, 6 a ページング網のサービスエリア（ページング網）

7, 8 ゲートウェイ局

30 9, 10, 11, 12 基地局

9 a, 10 a, 11 a, 12 a 専用無線網のサービスエリア

20, 21 携帯 R P C（移動端末）

30 ページング網受信回路（受信手段）

31 専用無線網送受信回路（送受信手段）

32 制御回路

33 a, 33 b, 33 c 記憶回路

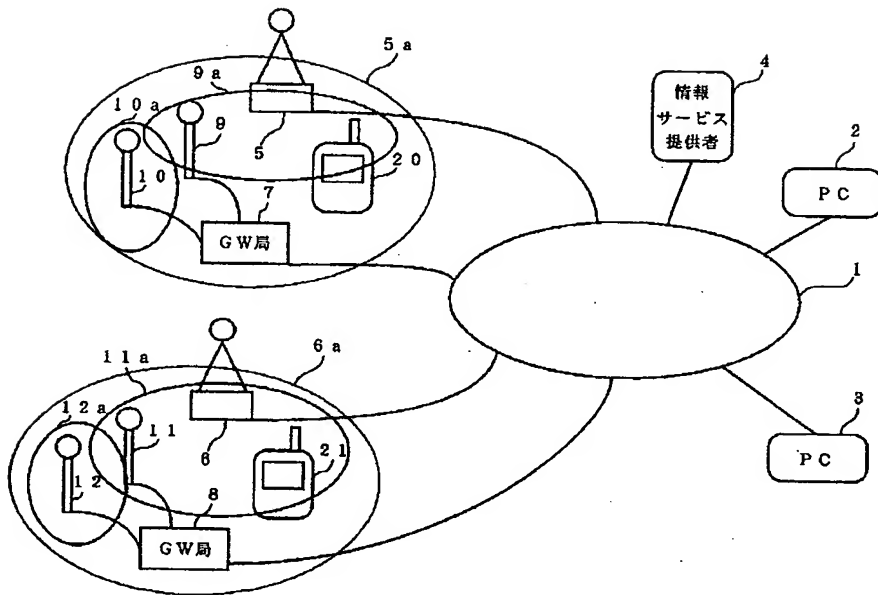
35 a, 35 b メモリ（位置情報記憶手段）

35 c, 35 d 対照表

40 37 受信周波数発生回路（受信周波数発生手段）

40 専用無線網（無線網）

【図 1】

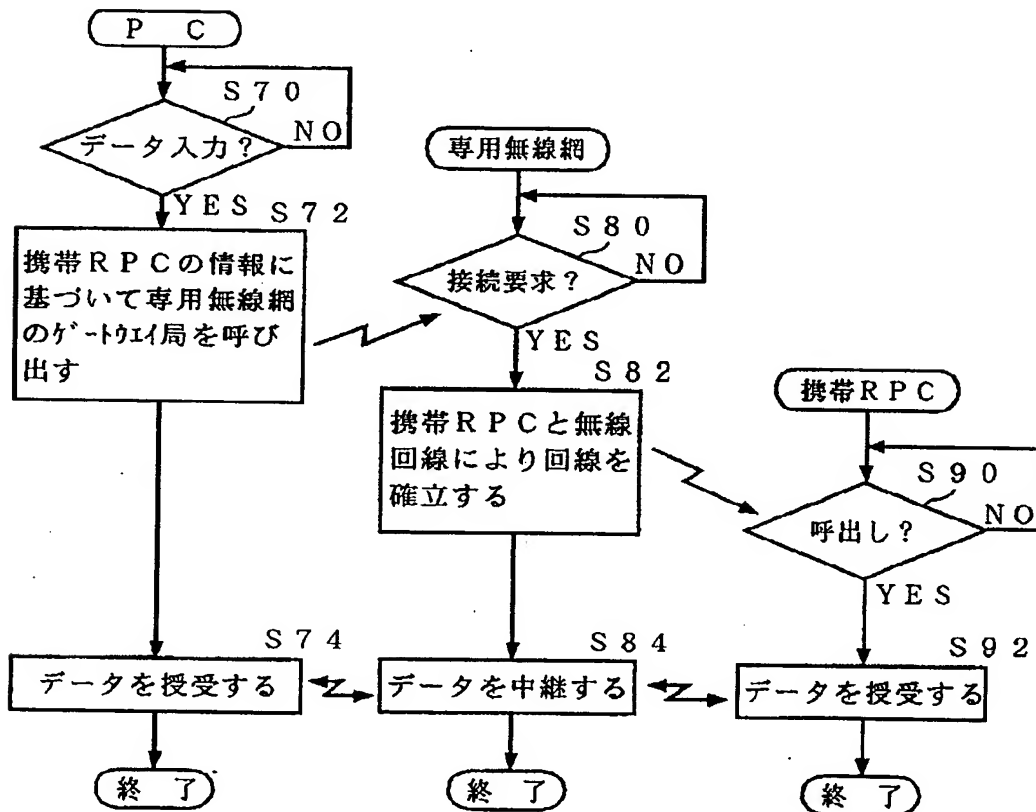


【図 10】

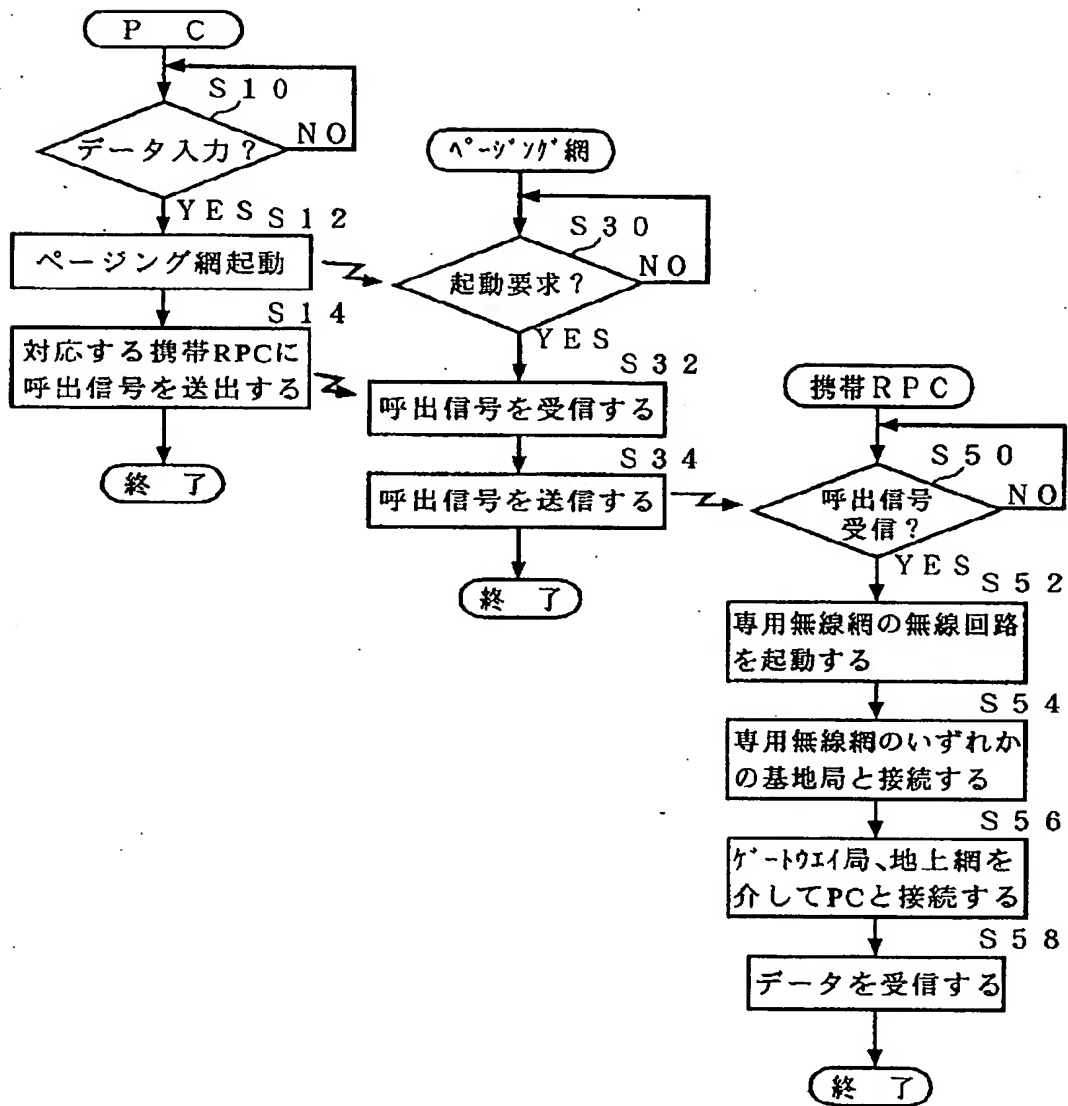
35c

ゲートウェイ局番号	ページング局番号
GWN1	PNN1
BSN1	
GWN2	PNN2
BSN2	
...	...

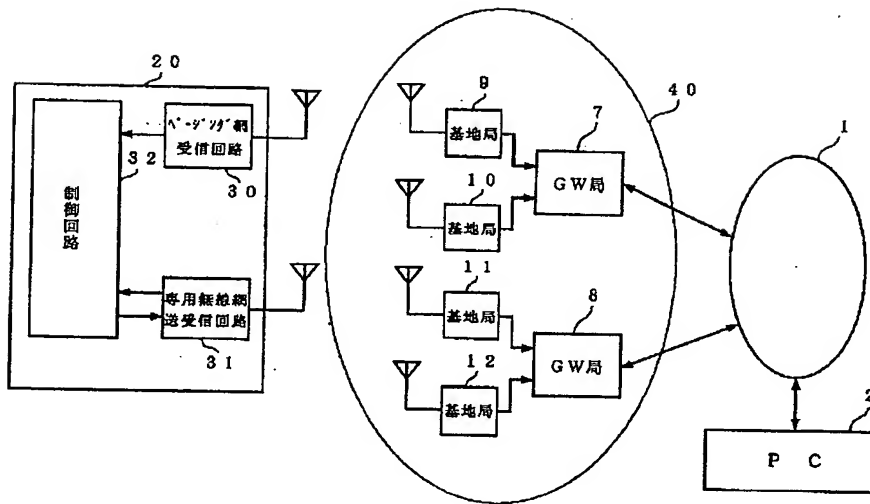
【図 3】



【図 2】



【図 4】

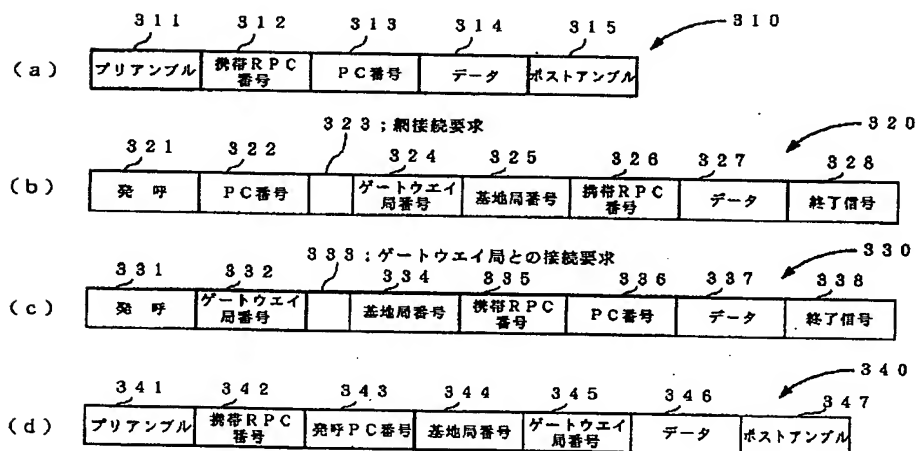


【図 13】

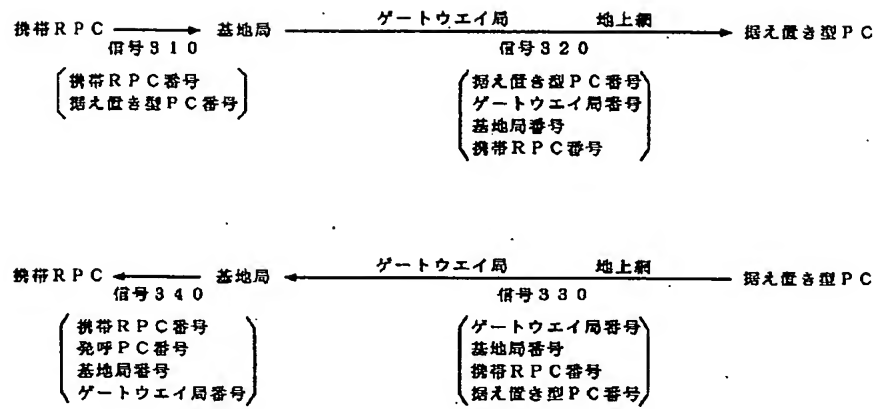
35d

ゲートウェイ局番号	ページング網番号
基地局番号	
GWN 1	PGNN 1
BSN 1	
GWN 2	PGNN 2
BSN 2	
...	...
ページング事業者	使用局数
PGE 1	f 1
PGE 2	f 2
...	...

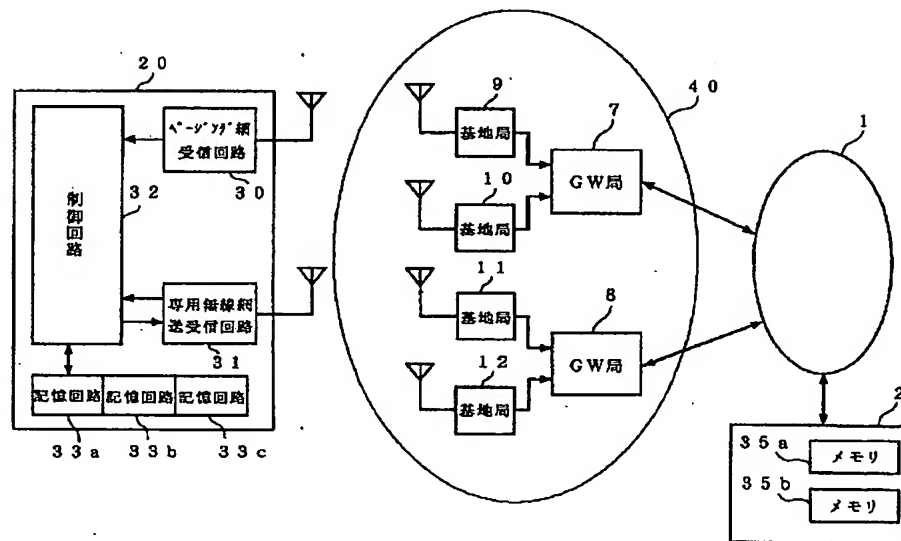
【図 5】



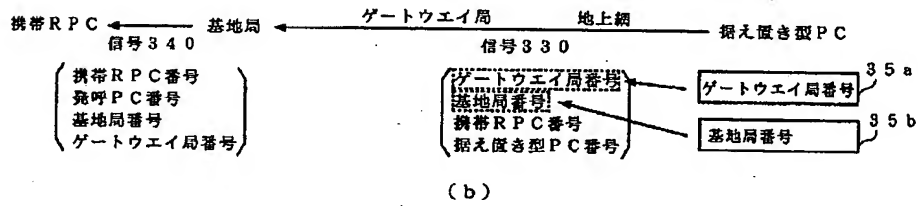
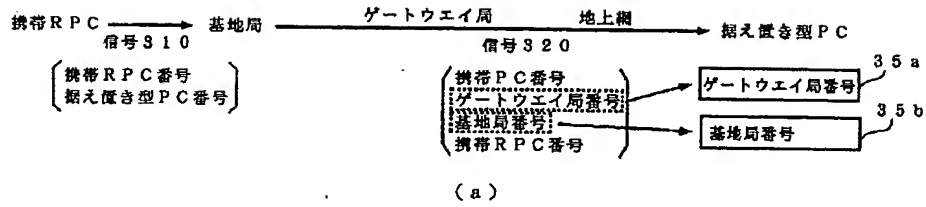
【図 6】



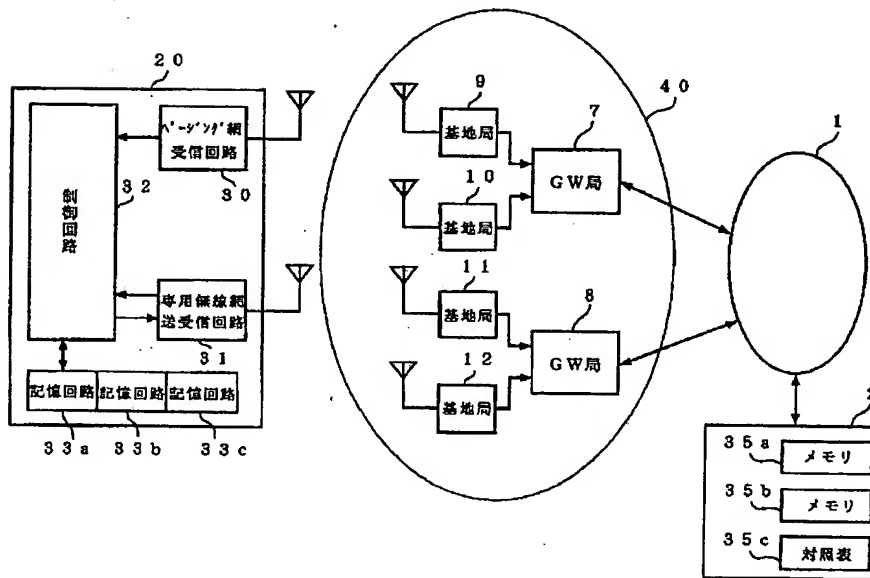
【図 7】



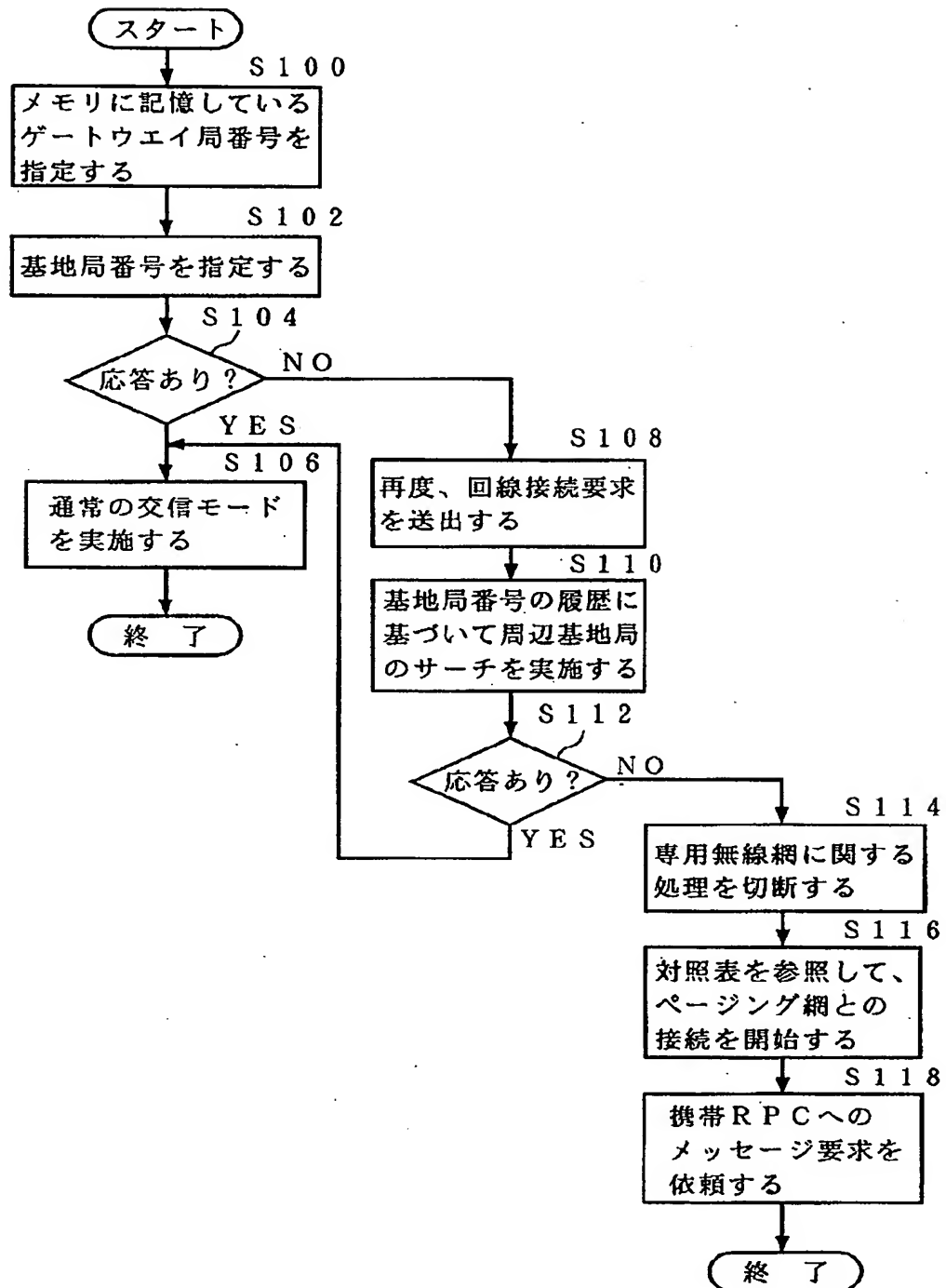
【図 8】



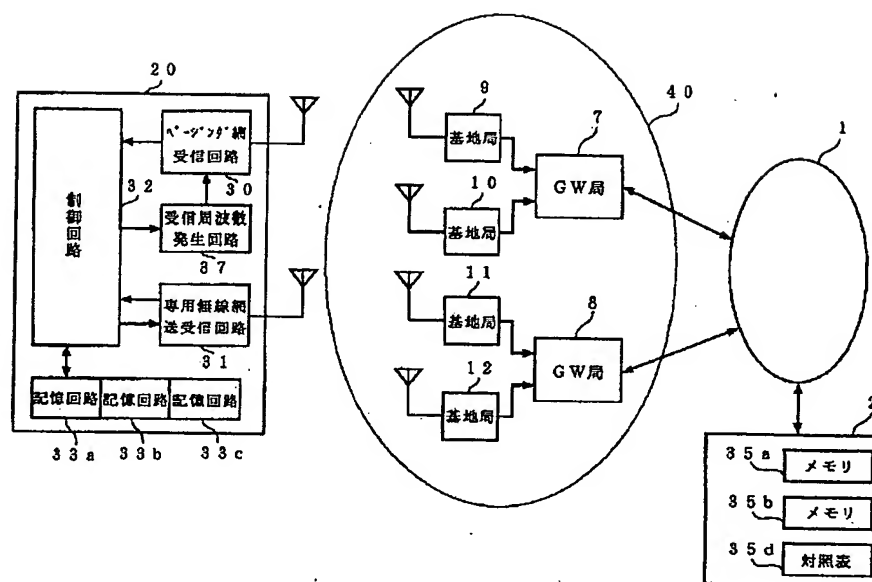
【図 9】



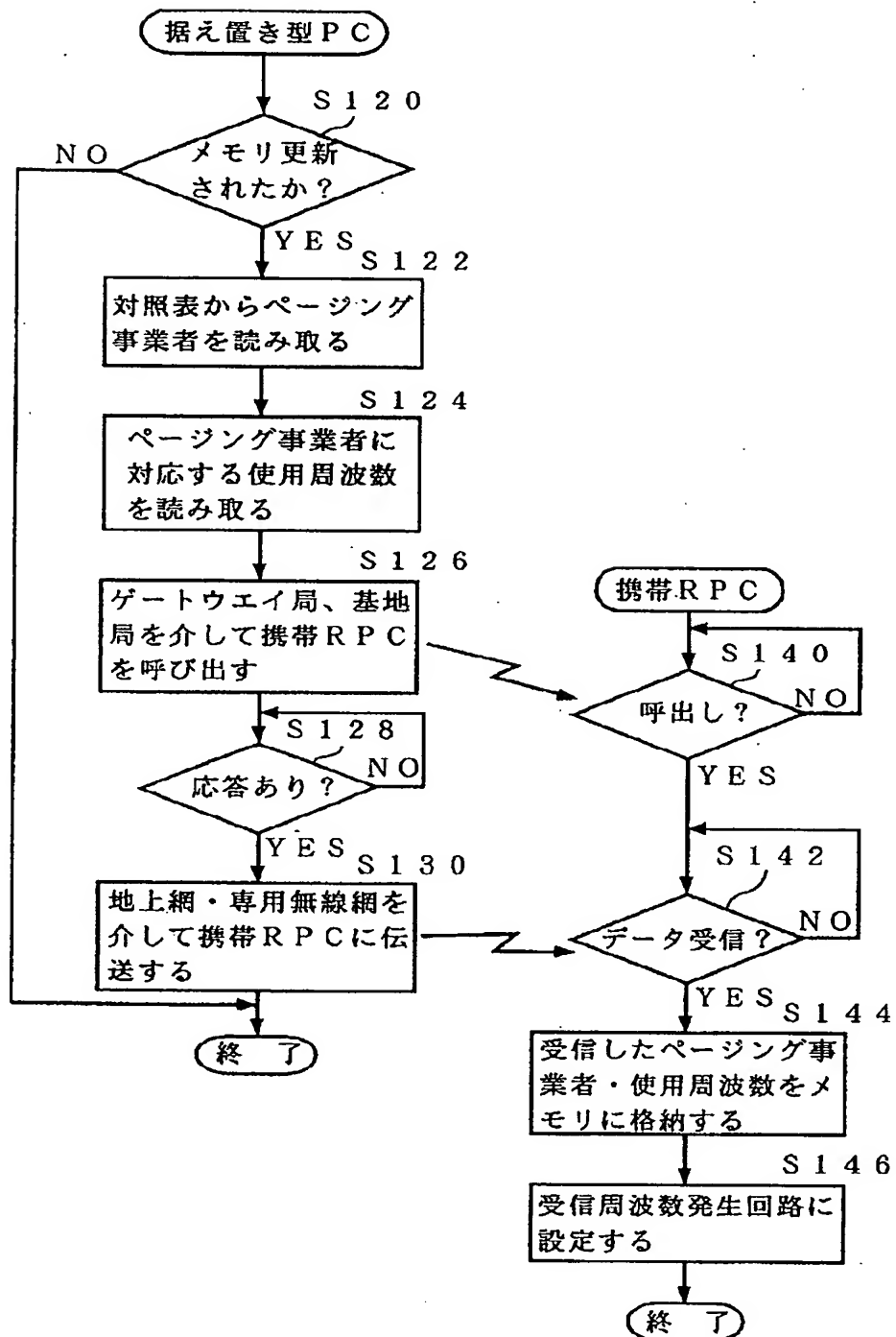
【図 11】



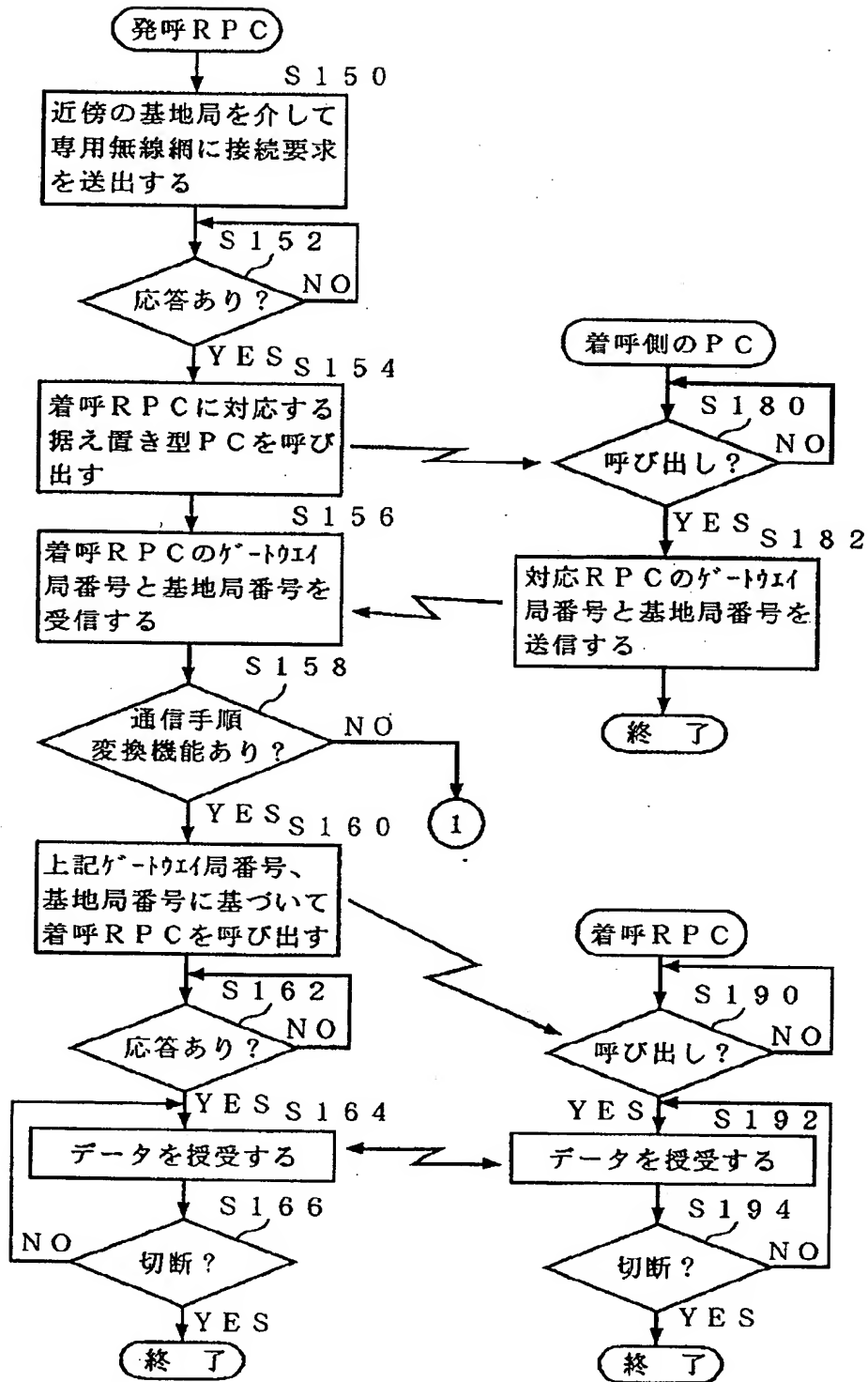
【図 1 2】



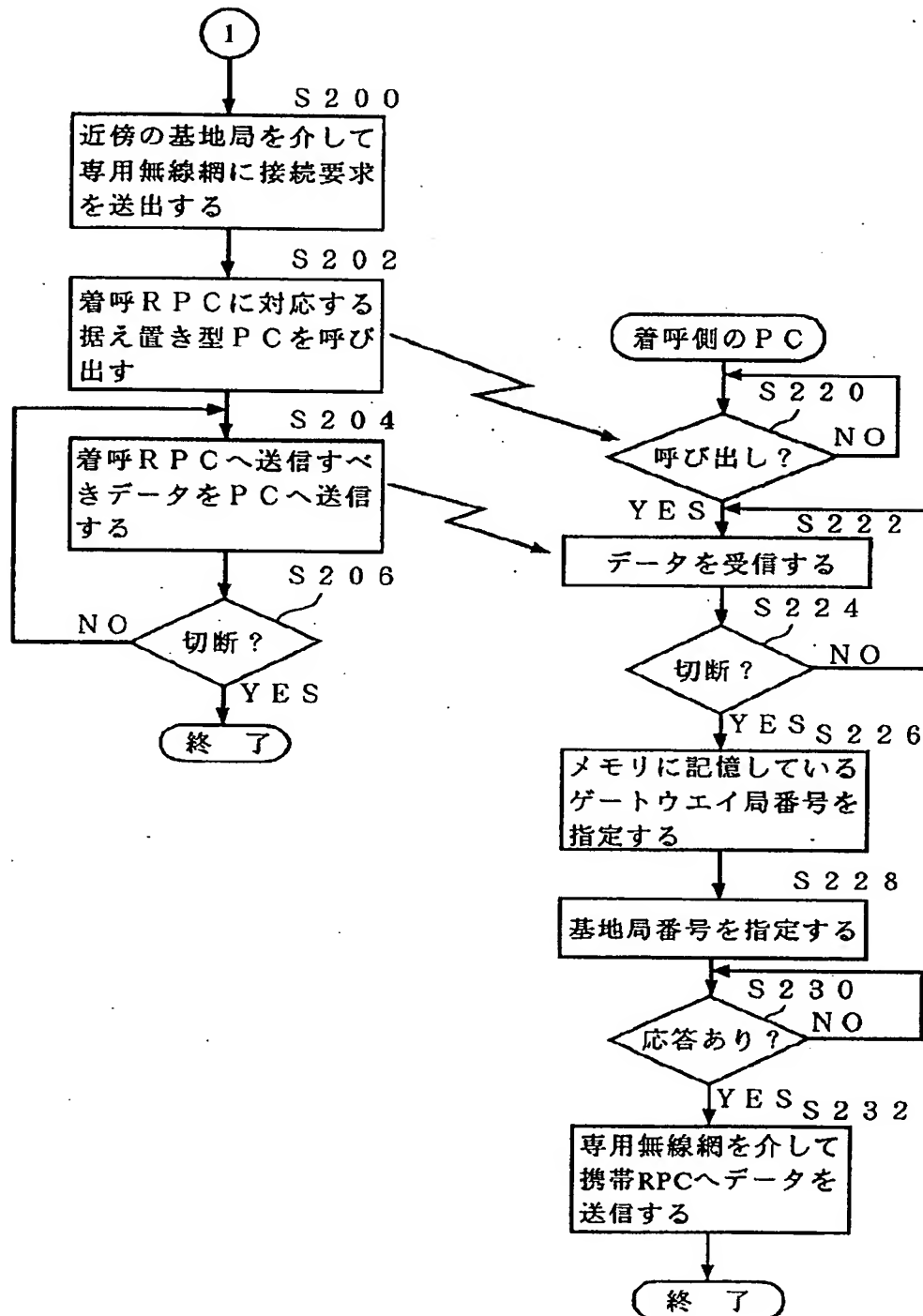
【図 1 4】



【図15】



【図 16】



フロントページの続き

(51) Int. Cl. 6

11/00

H04Q 7/34

識別記号

302

F I

THIS PAGE BLANK (USPTO)